

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	小学国語（書写を含む）				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

言葉を状況に合わせて適切に使うことができると、言葉による表現は大変豊かになります。言葉の細かいニュアンスの違いを使い分けことができると、感情表現の幅が広がり、互いの感情や心情を豊かに「伝え合う」こと、円滑なコミュニケーションが可能になります。この授業は、言語感覚を養い、国語の運用能力を高めることを目的としています。普段の生活でも関心をもって、「言葉」や「表現」を見てみましょう。

《授業の到達目標》

言語感覚を養い、国語の運用能力を高める。

《テキスト》

名古屋大学日本語研究会GK7「スキルアップ！日本語力 大学生のための日本語練習帖」  
東京書籍

《参考図書》

文化庁 文化審議会国語分科会「敬語の指針（答申）」（平成19年2月2日）  
[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hoku/pdf/keigo\\_tousin.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hoku/pdf/keigo_tousin.pdf)

《授業時間外学習》

授業外学修として、演習問題のプリントを配布することがある。  
使われている状況や、対象などに着目して、さまざまな言語表現に触れる、その表現効果について考察すること。

《成績評価の方法》

期末テスト 90%、提出物・小テスト 10%

《備考（教員経験の有無）》

期末テストの比重が大きいので、各時間毎に授業内容を復習し理解を確実にすること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明
2	敬語の種類と使い分け	敬語の5つの種類とその使い分けについて学ぶ（話すこと・聞くこと）
3	注意すべき敬語（1）	尊敬語と謙譲語の混同等、注意すべき敬語について学ぶ（話すこと・聞くこと）
4	注意すべき敬語（2） 問題演習	注意すべき敬語 問題演習（話すこと・聞くこと）
5	注意すべき敬語（3） 謙譲語Ⅰ・Ⅱ	注意すべき敬語 敬意の対象 謙譲語Ⅰ・Ⅱ（話すこと・聞くこと）
6	配慮を示す言葉	忌み言葉、間接的な表現等、配慮を示す言葉について学ぶ（話すこと・聞くこと）
7	品詞・活用の種類	口語文法における品詞・活用の種類について学ぶ
8	ら抜き言葉・レタス言葉	動詞の活用に関して、ら抜き言葉・レタス言葉等の不適切な用法について学ぶ（書くこと）
9	さ入れ言葉	動詞の活用に関して、さ入れ言葉について学ぶ（書くこと）
10	分かりやすい文を書くためには	文のねじれ・言葉の係り受け・あいまい文（書くこと）
11	接続語・指示語	接続語・指示語と文章（読むこと）
12	話し言葉と書き言葉	文体、話し言葉・書き言葉（話すこと・聞くこと）
13	バランスに気を付けて書く	硬筆での書写（書写）
14	形を整えて書く	毛筆での書写（書写）
15	まとめ	これまでのまとめと補足